

江南市戦略計画に関する住民説明会での意見、質問について

平成26年1月26日～2月1日に市内4会場で住民説明会を開催しましたところ、延べ715人の方にご出席いただきました。

多くの方々からいただきました貴重なご意見、ご質問について、その主な内容をお知らせします。

※ 文中の、(問)は、説明会に参加された方々からのご質問、(答)は、ご質問に対する市の説明内容です。また、(意見)は、参加された方々からのご意見です。

1. 戦略計画全般に関する意見、質問

○基本構想について

(問) 基本構想の中で、江南市は「生活都市」、つまり、住む・働く・学ぶ・楽しむなどの機能を備えた都市をめざすと示されています。

しかし資料を見ると、「住む」ということでは、29年度は人口の減少が見込まれており、下水道の普及率も低い。「働く」ということでは、「市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合」が20.3%、「学ぶ」ということでは、「青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合」が49.3%となっており、いずれもそれほど高い数値には達していない状況です。

これらの状況を市はどう考えているか、また、今後江南市をどのようなまちにしていこうと考えているのかについてお聞きしたいと思います。【宮田学供】

(答) 個別の指標の実績値については、それぞれの分野の視点や考え方によりどう判断するかが異なるため、一概には言えませんが、アンケート調査の結果を前回と比較してみると、全体としては良い方向に向かっていると考えています。

江南市の将来像としましては、基本構想に掲げております「豊かで暮らしやすい生活都市」、また、「住みたい、住み続けたいまち江南」をめざしていきたいと考えております。

2. 基本計画の見直し方針に関する意見、質問

○江南市の強みについて

(問) 基本計画の見直し方針として挙げられた5つの視点のひとつに、「江南市の良さ（強み）に目を向け、それを伸ばし、生かしていく」と書かれています。江南市の良さ（強み）とはどういった点だと考えているのですか。【宮田学供】

(答) 江南市戦略計画では、以下の5つの点を市の潜在力となる資源と位置づけています。

まず1つ目は、恵まれた地形・豊かな自然です。温暖な気候・風土、木曾川沿いの豊かな自然、強固な地盤など、江南市は恵まれた生活環境が整っています。2つ目は、大都市名古屋に近く便利な立地です。名古屋市から20km圏に位置し、市内には名鉄犬山線の江南駅・布袋駅の2つの駅があり、名古屋市まで約20分の好立地にあります。3つ目は、豊かな歴史と文化です。江南市は織田信長をはじめ、豊臣秀吉、蜂須賀小六・家政親子など戦国武将ゆかりの地であり、市内には曼陀羅寺、音楽寺などの文化資源が存在しています。4つ目は、多くの協働パートナーの存在です。自治会がきめ細かく組織されており、地縁を基盤にした活動の体制が整っています。5つ目は、構造改革の取組です。平成16年度からスタートした構造改革の取り組みにより、「成果主義」・「市民志向」の行政経営が浸透してきています。

その他には、医療の充実が挙げられます。市内には江南厚生病院がありますが、市民病院とは違い、運営に対する市からの補填は行っていません。また、小児医療については、土日祝日を含め、いつでも診察が受けられる点で非常に優れていると考えています。

○「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」について

(問) 満足度調査の回収数について、600件あれば有効であるところ、825件が回収できたので、信頼できる結果が得られたものと考えている、という説明がありましたが、回答のあった方は意識が高い人であり、回答のない方はそうではないか、あるいは無関心ということも考えられます。単純に回答してもらった人たちの満足度が高いから、目標が達成されているという評価はどうかと思います。対象者数1,800人についても、私はもっと多くてもいいと思います。【文化会館】

(答) 回答数が少ないことについては市民の方に市政への関心を持っていただき、ご回答いただけるよう、今後も努めていかなければならないと考えております。また、対象者数については前回の平成22年度の調査でも1,800人の方を抽出して送らせていただいておりますので、今回もその数に合わせたものです。

(問) 広域で考えて近隣市町でも同様のアンケート調査をされていると思うので、質問事項に似通ったものがあれば、他市町と比較して江南市はどうかというデータがあるといいと思いますがいかがでしょうか。【文化会館】

(答) アンケートの設問内容については、まちづくり会議の委員の皆様と協働しながら、市独自で検討しております。今回のご意見につきましては、今後の計画策定の際に検討してまいります。

3. 目標フレームに関する意見、質問

○人口について

(問) 資料 20 ページの将来目標人口の表において、【年少人口】、【生産年齢人口】【老年人口】という年齢区分が用いられていますが、最近では 65 歳を過ぎて働く人もたくさんいますし、このような区分では実態と合っていないのではないのでしょうか。【宮田学供】

(答) この計画におきましては、国でも用いられている一般的な年齢区分を用いております。確かに近年では、【老年人口】(65 歳以上)に属していても、年金支給年齢の引き上げに伴い、働く方が多くなっています。今後の計画見直しにあたって、参考とさせていただきます。

○財政について

(問) 資料 21 ページに財政計画が掲載されていますが、今後の 4 年間、歳入総額は 270 億円台半ばで推移していくこととなっています。また、同 20 ページの人口に関する説明では、「大規模な宅地開発や工場誘致など今後の人口増減に大きな影響を与える新たな要因は想定されていない」とあります。

これらを見る限り、税収を増やす努力など、歳入増加をめざそうという前向きの考え方が見られないように思います。【宮田学供】

(答) 江南市には大きな企業があまり無いため、現在法人市民税が 5.9 億円ほどと他市に比べて少なく、今後の増加も見込めない状況です。また人口減少時代に入り、個人の市民税も増加は望めないと見られます。

そこで、市税以外の歳入増加策として、ホームページや広報に有料広告を掲載しており、年間数百万円の収入を得ています。

今後についても、市の施設等に自動販売機を設置する際、競争入札を実施することにより、1 台あたり数十万円程度の歳入を確保していきたいと考えています。また、いま全国で話題となっている「ふるさと寄付金」についても、平成 26 年度から拡充を図るため、クレジットカードによる寄付ができるように準備を進めています。その他には、さまざまな有料広告媒体の活用を検討しており、また、平成 24 年度に一度改正を見送りました使用料・手数料の見直しについても、再び検討していきたいと考えております。

なお、上記のような歳入確保策の他、人口増加につながる施策についても研究を進めています。現在、江南市の市街化率(家を建てられる土地)は 24.36%と、県平均の 31.75%に比べ、非常に低いといえる状況です。しかし、市街化調整区域を市街化区域に編入することは、大変な費用と時間が必要となるため、簡単にはできません。

そこで、都市計画法に定められた「市街化調整区域であっても市が地域に合った条例を定めることにより、住宅を建てることできる」という基準を用いた条例の制定に向け、現在準備を進めているところです。こちらについては今後、詳細が決まりま

したら、改めて市民の皆様にご報告させていただきます。

4. 基本計画に関する意見、質問

○目標の達成状況について

(問) 目標達成状況をみると、達成率が 100%を超えているものがいくつかありますが、どのように計算しているのか説明してください。【布袋ふれあい】

(答) 各指標には目標とする数値が設定されており、それを上回る実績値となった場合に達成率が 100%を超えることとなります。例えば「ホームページのアクセス件数」という指標では、1年間で 50 万件を目標値としておりましたが、24 年度の実績値はそれを超える 571,482 件でした。この場合の達成率は、 $571,482 / 500,000 = 114.3\%$ という計算になります。

(問) 目標達成率を計算する際に、どの数値を基準としているのかが分からないので説明してください。【文化会館】

(答) 目標達成率は、毎年度設定しております目標値に対して実績値がどれだけあったかということで算出します。例えば、経営企画分野に「税負担が公正と考えている市民の割合」という指標がございます。この指標は平成 25 年度目標値を 50%に設定していますので、市民の半分の方が「公正である」と考えていれば達成率は 100%となります。満足度調査の結果、実績値は 53.1%でしたので、達成率は 106.2%ということになります。

【生活環境、産業分野】

○防災・地域防犯・交通安全について

(問) 資料 10 ページに、今後の課題としてコミュニティの弱体化が挙げられていますが、防災に関する課題の解決のためには、まさに地域のつながりの強化、意識向上が必要だと思います。しかし、課題はみえているものの、具体的な施策が見えてこない状況です。現在、防災カレッジが開催されていますが、この他にも、学校教育や生涯教育の中で、このような講座等を開催するなどして、市民の意識向上や人づくりに結び付けていくことはできないでしょうか。【宮田学供】

(答) 現在、防災カレッジや市政よもやま塾といった場で防災に関するご説明をさせていただいておりますが、その他にも市ホームページや、このような説明会などの機会を利用して、市民の皆さんにお願いをしております。

例えば、災害に備えた「備蓄」という面では、従来は 3 日分の備蓄が必要ということをお伝えしておりましたが、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震では、それ

を超える 1 週間分の備蓄が必要という想定がされております。ぜひご家庭でも十分な備蓄をしていただくよう、お願いしたいと思います。

(意見) 自転車で通行している際に、道路の白線が消えかかって、通行に支障をきたしていると感じることがあります。市のほうでは計画的に補修等を実施しているとは思いますが、市民としてはいつ直してもらえるのか分かりません。今年度は何月にどこの地域を重点的に行う、といった形で計画を立て、市民にも公表してほしいと思います。

【すいとぴあ】

○産業振興・雇用就労について

(問) 資料 10 ページの目標達成状況を見ると、「産業振興・雇用就労」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。」と書かれています。一方、11 ページを見ると、産業振興・雇用就労の指標「コミュニティビジネスを展開している事業所数」と「起業家からの相談件数」が削除されています。これでは上記の記述と逆行しているように思うのですが、いかがですか。【文化会館】

(答) 「産業振興・雇用就労」についての現状ですが、江南市の景気はまだ上向き傾向にはなっておらず、雇用の場も広がりを見せていない状況です。商店街は、構成員の皆さんの高齢化や後継者不足により空洞化している状況であり、農業関係においても、従業者の高齢化と後継者不足により、耕作放棄地が非常に増加しています。今後もこうした状況をにらみながら、中小業者に対する融資助成制度など、きめ細かな支援が必要になると考えております。江南市だけで解決できる問題ではありませんので、国、県、あるいは JA が、それぞれ関係団体と協力し合って、地域の活性化を図っていく必要があると思っております。

今回の見直しに当たり、ご指摘の 2 つの指標を削除しましたが、これに代わる新たな指標として「創業支援セミナーへの参加者数」を設定しました。これはコミュニティビジネスを展開している事業所の数を把握することが非常に困難であること、それから、様々な創業に対して市が支援セミナーを行うことにより、その参加者数を把握することで産業の創出を図ることができると考えたためです。個別の指標を削除したとはいえ、「産業振興・雇用就労」という柱全体の掲げる目標には、コミュニティビジネスの展開や創業支援という要素も含まれていますので、ご理解をお願いします。

【健康、福祉分野】

○高齢者福祉について

(問) 資料 13 ページにある「老人クラブの会員数」という指標を見ると、実績値がどんど

ん減少しており、平成 29 年度の目標値が 9,000 人から 5,400 人に下方修正されています。一方で、20 ページにある将来目標人口の表では、65 歳以上の老年人口は、平成 25 年度の 24,044 人から平成 29 年度には 26,886 人と、1 割増えることが想定されています。

高齢者が増加していくにもかかわらず、指標の目標値を大幅に下げていることについて、説明してください。【布袋ふれあい】

(答) ご指摘のとおり江南市の老人クラブの会員数は年々減ってきております。クラブの数につきましても、平成 18 年度の 93 から、平成 25 年度は 84 まで減少しています。

市としては、少しでも多くの方に老人クラブにご参加いただきたいと考えておりますが、時代とともに、発足した当時の取り組みの考え方や社会情勢、各々の考え方がずいぶん変化してきております。今は多人数の団体行動ではなく、例えばゴルフやダンスのような、共通の趣味を持った仲間が少人数でも活動できる世の中になってきました。こうしたことも老人クラブの会員数が少なくなってきた理由と考えております。

このような状況ではありますが、市の老人クラブ連合会の方々と毎月、話合いの場を持ち、「どうすると会員数が増えるのか」、「今のままの老人クラブの考え方で良いのか」等を議論し、多くの方にご参加いただけるよう一生懸命取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

(問) シルバー人材センターの登録者数と老人クラブの会員数が大幅に目標値を下方修正されていますが、豊かなまちづくりという意味では高齢者がいきいきと生活するというのが大事かと思うのですが、なぜ下方修正したのか説明してください。【文化会館】

(答) シルバー人材センターの登録者数と老人クラブの会員数の指標は大きく下方修正をいたしました。これは本来、私どもが数年前の人数を参考にして、少しでも多くの方にご参加いただきたい、多くの会員を保ちたいという趣旨で数字を設けました。

ところが、近年の年金支給年齢の引き上げや、生活スタイルの多様化により、参加者が減少してまいりました。

それを必ずしも増やすことだけが是ではないのではないかとということで、現状を踏まえた上で数値を下方修正いたしました。私どももこのままでいいとは思っておりません。やはり多くの方が参加していただけることが大切なので、市の老人クラブの関係者の方々、それからシルバー人材センターの役員の方々と会員の増加について、一生懸命検討を進めているところでございますのでよろしくお願いしたいと思います。

(問) 老人クラブの会員減少についての質問に対する回答で、ゴルフなどのサークル活動が活性化してきているとの説明がありました。私もある同好会の代表をしており、同じ趣味の集まりがたくさん増えるほど、老人は活性化して健康にも良いのではないかと思います。老人クラブの会員数の減少がそうした活動に移行しているのであれば良いと思いますが、今のサークル活動の状況がわかるデータとして、サークル数や参加

人数を把握していますか。【布袋ふれあい】

(答) サークル数や参加人数については、現時点では正式な数字をつかんでおりません。今後こうした対策を進める中で、皆様方の取り組みの傾向もしっかり分析していきたいと思います。

○子育てについて

(問) 資料 12 ページに、今後の課題として「子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められており」とありますが、例えば子ども医療費の無料化など、この分野では他の市町村に比べ江南市は遅れていると思います。【宮田学供】

(答) 子ども医療については、最近特に医療費を無料とする年齢の拡充が行われており、中学校卒業まで通院の医療費を無料としている自治体も増えてきました。

江南市では現在、小学 3 年生まで通院無料ですが、それ以上の小学 4~6 年生までは 3 分の 2 助成としています。現在、愛知県下で助成対象を 6 年生までとしているのは、江南市を含め、半田市、稲沢市など 5 市となっています。各地で拡充に向けた動きがある中、江南市も限られた財源ではありますが、今後この問題について、しっかり検討をしていきたいと考えております。

また、医療費の問題だけでなく、総合的に「子育てがしやすいまち」をめざして、子育て施策の充実を図っていきます。

愛知県知事が学童保育の待機児童解消を打ち出しておりますが、江南市でも年度当初は全ての希望者の受入ができていない状況ですので、これに対応するため、平成 26 年度には学童保育所を拡充していきます。また、若いお母さんの子育て不安を解消する助けとなるよう、現在市内に 2 箇所あります子育て支援センターを、さらに増やすべく努力をしていきたいと考えています。

【都市生活基盤分野】

○下水道について

(問) 下水道の普及率が極めて低くなっていますが、どうして普及率が上がらないのでしょうか。【文化会館】

(答) 下水道の整備については、ご指摘のとおり江南市は大変遅れている状態です。県、国とも協力して、できるだけ安いコストで、少しでも整備面積を増やしていきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

○治水について

(問) アパートの駐車場の舗装などを見ると、多くが密粒度舗装となっているようです。

透水性舗装で施工するように、条例で定めていないのですか。

また、市道、県道についても、現在は密粒度舗装で施工していることが多いと思いますが、路上に浮いた雨水等が側溝に流れ込まずに地下にしみこむよう、排水性舗装を採用してはどうでしょうか。【すいとびあ】

(答) アパート等の駐車場の舗装については、市が作成した指導要綱において、透水性舗装を採用していただくよう定めています。指導要綱は条例とは違い強制ではありませんが、広報などいろいろな媒体でPRし、治水対策にご協力をお願いしているところです。また、一般の方でも家庭の駐車場などで透水性舗装にさせていただける方には、補助金制度があります。

道路については、現在市道では排水性舗装は採用しておりませんが、細い道で交通量が少ないところでは透水性舗装で施工している例もあります。排水性舗装については、費用対効果なども考えなければいけません。将来的には検討する余地はあると考えております。

(問) 私が住んでいる小折町桜雲では、集中的に雨が降るとすぐ冠水してしまいます。市に申請していますが、一向に改善されない状況が続いていますので、何とかしていただきたいと思います。【布袋ふれあい】

(答) ご指摘いただいた箇所につきましては、雨が降るたびに冠水することを十分認識しております。こうしたことから、平成25年度、布袋駅東地区について、雨水排水施設の検討を始めました。今後、鉄道高架化事業に併せた道路整備を行うにあたり、整備を進めていきますので、ご理解をお願いいたします。

(問) 私は般若川流域に住んでいますが、警報が出ると毎回遊水池のようになり、必ず床上、床下浸水の被害を受ける家屋が出ます。これは川の幅が狭く、それに対して水の量が多すぎるためだと思います。市の担当者にも何度も来てもらっていますが改善されません。【文化会館】

(答) 冠水の被害につきましては、大変ご迷惑をおかけしており、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

江南市には大きな川として日光川、般若川、青木川、五条川がありますが、これらの河川につきましては、愛知県が管理しております。川の改修につきましては、計画書を定めておまして、下流から上流への改修に概ね30年間かかるとされておりますが、江南市は比較的上流の方にあるため、改修が遅れている状況です。県に対しては、一日も早く整備を進めていただくように要望しております。

般若川につきましては現在、調節池を作り、水を一旦そこに貯めたうえで、青木川放水路を通して木曾川に放流しております。しかしながら、近年のゲリラ豪雨では、短期間に集中して大雨が降るため、その処理能力を超えているものと考えております。このような中、江南市では第3次総合治水計画を策定し、北部中学校のグラウンドに

貯留槽を作ることによって般若川に流れこむ水を少しでも上流の方で調整するよう整備を進めております。

また、市民の皆様には、ご家庭に雨水浸透枡や雨水タンクなどを設置し、降りました雨を一時的に貯留していただくことで、少しでも河川にかかる負担が少なくなるよう、ご協力をお願いしております。設置にかかる費用の 90%を補助する補助金制度もありますので、ぜひご活用ください。

【教育分野】

○学校教育について

(問) 資料 16 ページの主な成果に、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換を行ったとありますが、この視察というのはどのような目的で、どんな所に行かれたのか、視察することでどんなことが分かったのかということをお聞かせください。【布袋ふれあい】

(答) 先進地の視察につきましては、教育委員の方が 2 年に一度、国内の中から先進地をピックアップしまして、新しい情報を収集し、意見交換に行かれるものです。本日は詳細な資料を持ち合わせておりませんが、どのような点に焦点を絞って視察先を選定しているかについてご説明いたします。

今、市内の小中学校の教育を進めていくにあたって、特に私たちが大事にしていることは、小学校と中学校の連携、あるいは、同じ校下同士の連携という点です。また、現代の子どもたちは互いに関わりあって、学び合って成長していくということが欠けている点や、集団生活の中で嫌なことがあると、すぐに逃げてしまい、不登校になってしまうという傾向があります。そうした観点から今の江南市の小中学校の状況を考慮し、関係者皆で議論しながら先進的な取り組みを行っている地域を選定しています。

(意見) 資料 16 ページの主な成果に記載されている「あいさつ運動」について、提案をさせていただきます。校長先生や教育長から「あいさつしなさい」と言われて、できるようになる子どもは少ないと思います。朝起きたら、親の方から子どもに「おはようございます」とあいさつを実践してみせるなど、市内のみんなが力を入れて活動していくような運動としていただきたいと思います。【布袋ふれあい】

○生涯学習について

(問) 資料 16 ページの今後の課題に「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を増やしていく必要がある」と書いてありますが、高齢者教室というものを初めて聞きました。どのようなところで、どのようなことをしているのかお聞かせください。【文化会館】

(答) 高齢者教室は、各公民館などを会場として年に数回開講しております。受講を完了した方には修了証を授与しています。昨年度の会員登録者数は 1,149 名で、804 名の方が修了されました。メニューについては広報や、生涯学習課のホームページなどに掲載しておりますので、気になるものがございましたら、生涯学習課までご連絡いただきたいと思います。

○文化・交流について

(問) 文化財に関することですが、私は安良の棒の手（県指定無形文化財）に長年関わっている他、一つ物（通称「おでこ様」）（市指定文化財）の委員も務めております。棒の手は毎週練習しておりますし、町内の祭りのときにも文化財の公開をしていますが、それにもかかわらず、知名度の低さを感じております。会員の高齢化も進んでいますので、もっと多くの市民の方に知っていただきたいと思います。

例えば、広報の市民カレンダーに掲載していただくなど、市の方でも PR をしてもらえないでしょうか。【布袋ふれあい】

(答) 現在、市では「文化財マップ」というものを発行し、その中で文化財の紹介をさせていただいておりますが、ご提言いただいた周知の方法についても、前向きに検討させていただきます。

【経営、企画分野】

○地域協働について

(問) パブリックコメントの受付、回答方法について教えてください。【すいとびあ】

(答) パブリックコメントについては、市がいろいろな計画等を立案する段階におきましてホームページ、広報、各支所や市の窓口で概要などの資料を公表し、皆さんからの意見を募集しています。また、頂いた意見等に対する回答については、ホームページ、広報等で公表しています。

○課税・収納について

(問) 市税の滞納について、滞納者から徴収するための方策についてお聞かせください。

【すいとびあ】

(答) 現在、愛知県と県内市町村で構成されている「滞納整理機構」という組織に職員を 1 名派遣し、概ね 50 万円以上の高額滞納者・徴収困難な事案を中心に、不動産も含めた差し押さえ等を実施しています。今後も職員の派遣を継続し、滞納整理の強化に努めていきたいと考えております。